投稿前チェックリスト

以下の□をすべて確認した上で投稿してください。

□筆頭著者は会員であり、今年度会費を納入済みである。

□英文の抄録を付けている。抄録はひな形に沿って作成しているので、一段落、かつIMRAD形式（緒言等を小見出しにする形式）になっている。

□英・和それぞれ5語以内のキーワード（表題に含まれていない語に限る）を付けている。

□和文原稿および英文原稿ともに、英文抄録（250語以内）と和文抄録（1,500字以内）を作成している。

□別に定めるひな形に沿って原稿を作成している。ひな形のファイル名は変更していない。

□原稿作成にはパソコンを用い、A4判用紙30字×25行（750字）横書きである。

□初稿時の規定枚数（原稿枚数）は、論文の種別に関わらず、図表を含めてA4判20枚以内であり、査読・修正を重ねる中で規定枚数を超えた場合においても、掲載料は著者が負担する旨を了解している。

□各ページ下中央部に通し番号を、左側余白部に行番号（前ページからの続き）を付けている。

□図、表は英文原稿に関しては英文とし、和文原稿に関しては和文もしくは英文とし、文献の後に示している（別ファイルにしていない）。また、本文中に図表が挿入されるべき位置を明確にしている。

□図表や写真等を引用する場合、著作権を持つ者の許諾を事前に得た。

□質問紙票等の使用においては適切な手続きを経た。例えば、既公刊論文における尺度・調査紙を改変して引用する際、改変したことを論文に明記した。また、改変に際し許可の必要の有無について版権を持つ著者や出版社等に確認し、その必要性に応じて許可を得た。

□文献は引用順に番号をつけて最後に一括し、執筆要領に示す記載例に従っている。

□謝辞や利益相反、倫理審査に関わる部分の個人名や所属名を伏せ字（○字）にしている。

（再投稿の際は以下についても確認すること）

□2ヶ月以内の再提出である。

□査読者への「修正対応表（回答コメント）」を作成している。その際、ページ数や行番号を用い、個々の指摘に対して訂正・対応箇所を明示している。

□査読者への回答コメントは、査読者が複数名であっても1つのファイルにまとめている。

（以上）

2025年4月1日（変更）